

◆ 避雷器のクラスと設置場所

使用用途		JIS試験規格	設置箇所、設置目的等
電源用	直撃雷用	クラスⅠ 電流波形：10/350μs	電力引込口等に設置し、建物外へ流出または建物外から流入する直撃雷電流に対応
	誘導雷用	クラスⅡ 電流波形：8/20μs	建物内部の分電盤等に設置し、建物内部に侵入または発生する誘導雷電流に対応
		クラスⅢ 電圧波形：1.2/50μs 電流波形：8/20μs	建物内の機器近傍に設置し、建物内部に侵入または発生する誘導雷電流から機器を保護

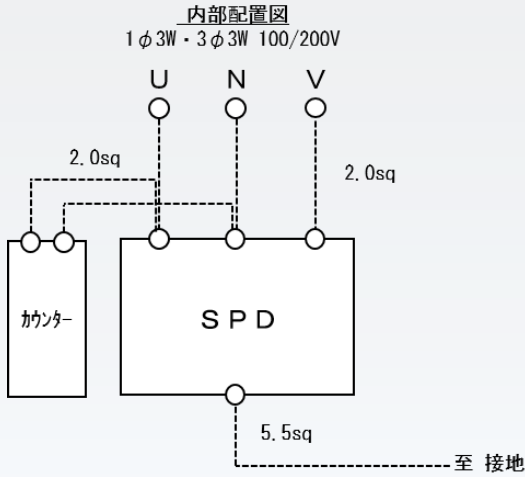
◆ OT-SPD1仕様

OT-SPD1仕様		
項目		仕様
電源用SPD	クラス	Ⅱ
	最大連続使用電圧[Uc]	単相2線（1φ2W）：130V、250V AC（50/60Hz）
		単相3線（1φ3W）：110V/220V AC（50/60Hz）
		三相3線（3φ3W）：250V AC（50/60Hz）
	電圧防護レベル[UP]	線間（L-L）：1300V以下（In：5kA（8/20μs）印加時）
		対地間（L-E）：1500V以下（In：5kA（8/20μs）印加時）
	公称放電電流（8/20μs）[In]	5kA（ClassⅡ、線間（L-L）、対地間（L-E））
	最大放電電流（8/20μs）[Imax]	10kA（ClassⅡ、線間L-L、対地間L-E） （サージ耐量：20kA（8/20μs）1回）
	使用電線範囲	接地側：5.5mm～14mm、線路側：2.0mm～14mm
	使用温度範囲	-25℃～+70℃
	外郭の保護等級	IP20 屋外設置の際は、別途防雨BOX内に設置
	質量	約260g
	備考	故障表示機能：有り
カウンター	電源	電圧：AC100V、200V共用（AC90V～240V）
		表示
	動作電流	10A / 50A /100A（電流波形 8/20μs）
	最大電流	20kA（電流波形 8/20μs）
	動作間隔	約1秒
	C T	貫通型 内径：φ19（適応電線1V60mm以下）
	使用温度	-10℃～+50℃（ただし、氷結しないこと）
	質量	約200g
BOX	外形寸法	ヨコ200mm×タテ150mm×フカサ120mm
	質量	2.1kg
	外郭の保護等級	IP4X 屋外設置の際は、別途防雨BOX内に設置
システム質量		2.6 [Kg/set]

本製品は誘導雷および電源ラインからのサージ防護を対象としており、通信ラインからのサージなどは対象としておりません。
また、過大なサージが侵入した場合など、機器を完全に防護できない場合があり、防護される機器の破壊、あるいは誤動作により人物の損傷、死亡、部品の損失、損害および無形の知的所有物、データの損失、消失など全ての求償の責は負いかねます。



サージカウンタSPD
OT-SPD1【ClassⅡ】

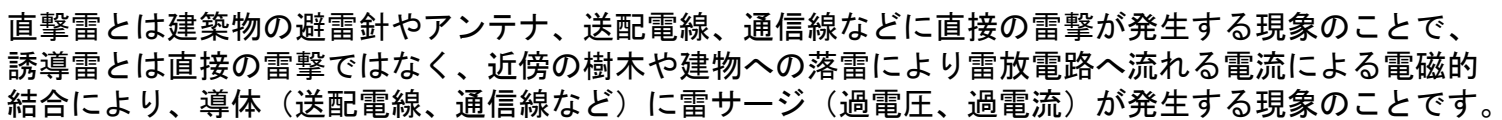


異常気象の影響もありますが、それにも増して近年では情報化に伴う低電圧駆動化や高密度実装化により機器が脆弱化しています。
さらに雷サージの侵入経路があらゆるところに形成されていることから、誘導雷や逆流雷による雷被害が増加し、その対策も急務なものとなっています。

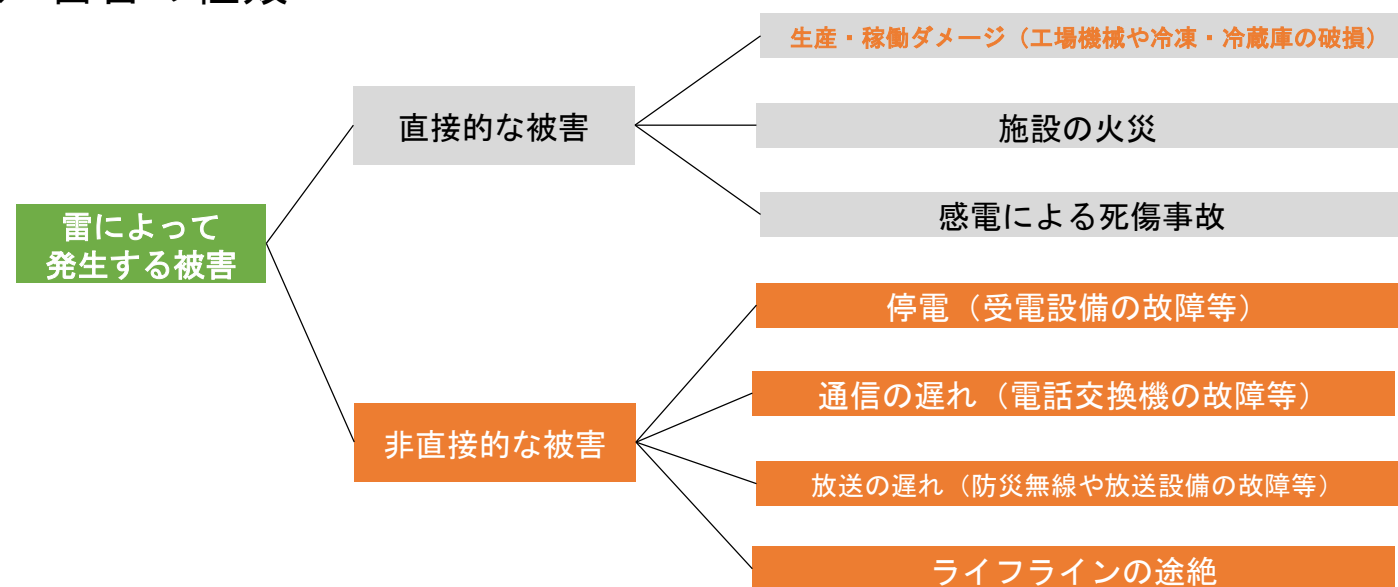
特徴

- 1. 1台で線間・対地間を保護
- 2. 応答性に優れ無続流
- 3. システムがボックス内にセットされているため取付が容易
- 4. サージの侵入回数をカウントし、SPDによる保護状態が見える化できて安心 ※デフォルト：高感度10A（8/20μs）
- 5. システムを金属筐体内に収めて過熱・発火を防ぐ
- 6. 単相2線・単相3線・三相3線、110V・250V(AC) に対応

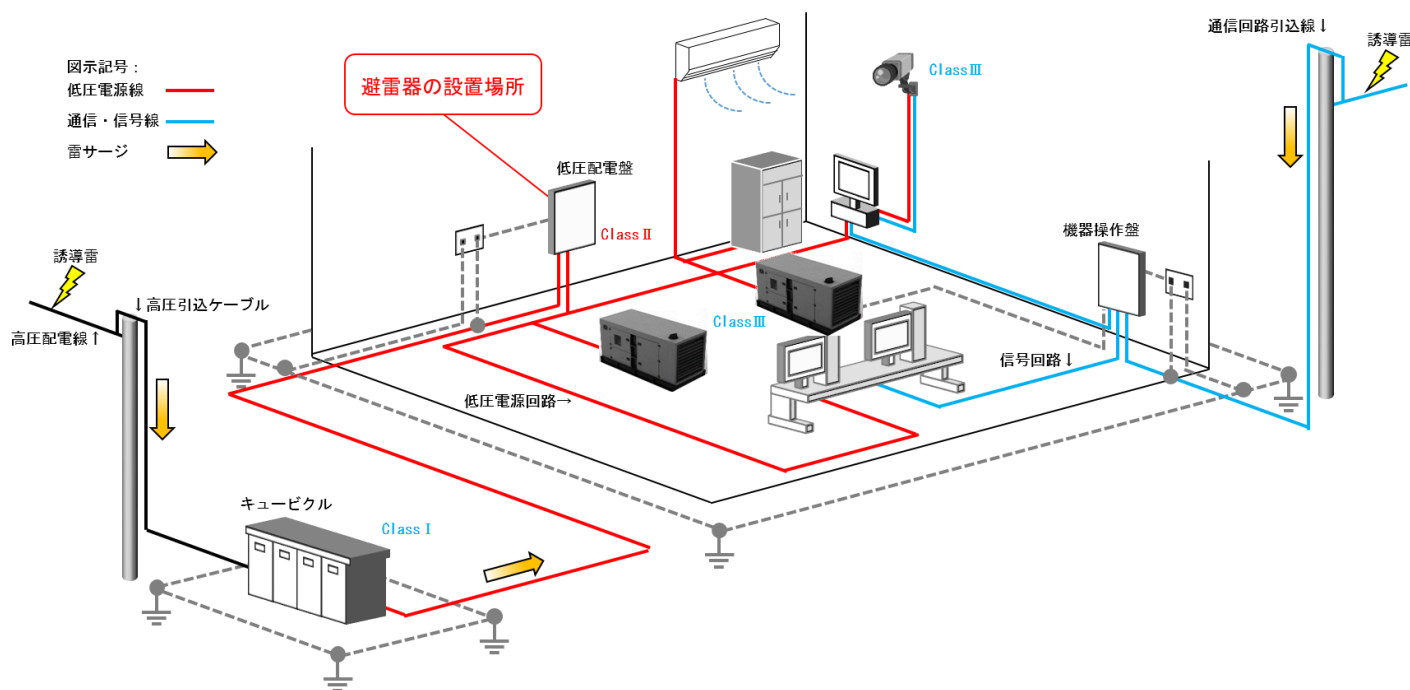




◆ 雷害の種類



◆ 雷サージの侵入経路



雷に関する 3 つのお話

電気学会技術報告（902号）によると、雷による年間被害総額は1000億円～2000億円と推定されています。

避雷針は直撃雷に対し建物やその中の人間を保護する為の装置です。

避雷器は誘導雷に対して電子設備を保護する為の装置となります。

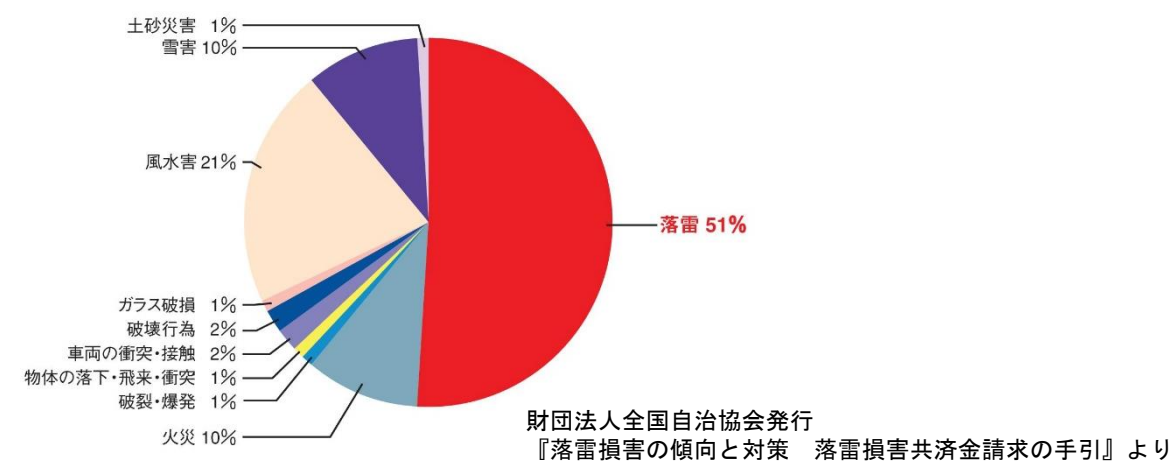
名称は似ていますが全く別の役目を持った装置になります。

損害保険では休業や機器修理に対する金銭的な補填はされます。しかし復旧するまでの稼働停止等による信頼、競合他社へ流れてしまったお客様、更には機器に蓄積されたデータやノウハウはどのようになるのでしょうか。



前輪 (SPD) 後輪 (保險)

◆ 平成22年度 填補責任別共済金支払額の割合



◆ 落雷対策が必要とは言うものの、止められない機器が多いのも現実…

